

## 優勝するためにすべきことを



新潟県で開催される第12回(2025年度)全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会一かしわざき潮風カップへ岐阜選抜チームとして出場することを報告するために、野村倫太郎選手(写真左)と大橋龍生選手(写真右)が3月13日(金)に川地憲元町長を訪問しました。

野村選手は「大会に万全の状態でお出場できるようにコンディションを整え、ボールを繋ぐポジションとして、力を発揮してチームに貢献したいです」と意気込み、大橋選手は「半年間、怪我で大会に出場することができなかったため、復帰して初めての大会であるとともに、一年生最後の大会となるので、自分のこれまでの集大成の舞台としたいです」と意欲を見せました。なお、出場した大会で、岐阜選抜チームはチーム初となる優勝を果たしました。

## 初めて立つ 世界の舞台



ブラジルのリオデジャネイロで開催されるフェンシングの世界大会である2026世界ジュニア・カデ選手権大会へ出場する桐山絢選手(写真左)と三輪楓華選手(写真中央)が、3月27日(金)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「二人の活躍はわが町の誇りであり、これからのフェンシング界の希望です。各国から強豪が集まることに加え、移動も長時間ですが、練習の成果を発揮して戦ってきてください」と激励すると、桐山選手は「とても貴重な経験なので、日本代表としての誇りを持ち、一戦一戦を大切にしたいです」と意気込み、三輪選手は「多くの国の人たちと関わることができる貴重な経験になると思うので多くのことを学びたいです」と意欲的でした。

## 地域で楽しむ春たけなわ



3月29日(日)に宮の森公園において、第2回宮の森公園春まつりが開催されました。春らしさを感じさせる心地よい気候の中、宮の森公園は満開の桜に彩られ、会場はたくさんの地域住民で賑わいました。参加者はバザーや縁日、ガラガラ抽選会、モルック、菓子まき、三線演奏などの催しを楽しみながら、交流を深めました。

宮の森公園春まつりは、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるイベントとして、地域の各種団体により構成される実行委員会の主催により開催され、地域住民のふれあいの場となっています。

## 音楽から感じたままに描く



3月20日(金)から22日(日)にかけて、町中央公民館 中ホールにおいて養老町生涯学習絵画講座と下笠保育園、養老福祉作業所、れんげの会の合同作品展である『養老絵画教室作品展(それぞれの表現展2026)』が開催されました。この作品展は1年間の成果を発表する場として開催され、それぞれの個性が発揮された作品が展示されました。

21日(土)には、ウクレレバンドのレアレアによる演奏に合わせて絵を描き、会場が一体となって作品を制作する「ライブペインティング」が行われました。今回が初めての試みでしたが、町内外から多くの人々が参加し、それぞれが歌や演奏から感じたものを楽しそうに絵として表現していました。